



東陽の旋風 かぜ ～自律協働貢献～

令和6年6月14日（金）No 11 発行
文責：松本 卓也

小中合同研修 ～どのような表現にすると聞き手に分かりやすく伝わるか？～

5日（水）、八代市教育委員会からI指導主事をお招きして、3年生英語科の研究授業を行いました。授業者は本校2年目のN教諭です。本時のめあては、“修学旅行で行ったことのある場所について友達に伝え合おう”。修学旅行で行ったことのある場所を友達に伝えるために、理由や情報等を交えながら自分の気落ちや考えを整理し、伝え合うことが目標です。まずは、① Warming-up。前時の学習の定着確認（eライブラリのドリル学習）→ Two minutes word practice（新出単語の発音練習）→ Small Talk（現在完了形を用いた例文トーク）から本時の課題につながります。現在完了形の文をどのように入れたら聞き手に伝わりやすいかを考え、発表ノート（スカイメニュー）に作成していきます。「この語句を使ってみたら？」「感想を入れるとわかりやすいよ。」等々、学び合いを通して考えを深めていきます。②中間指導で他の生徒のアイデアや助言を受け、作成した英文を見直します。③まとめたものをペアを変えながら伝え合います。4つのポイント（nice smile（笑顔）・good gesture（身振り手振り）・eye contact（相手の目を見て話す）・clear voice（聞き取りやすいはっきりした言葉で話す）を意識しながら、懸命に自分の考えを表現していました。④最後に、課題に対するまとめを行い、eライブラリで振り返りをしました。東陽小・中が目指している、「主体的に学び続ける児童生徒」の姿を体現した非常に意欲的な授業態度でした。授業研究会では、私たち職員も子どもたちに負けじと、「学習リーダーの育成」「定着確認の徹底」について主体的な協議を行いました。I指導主事からは、授業や校内研究の気づきとして、

【共通実践事項】
子供が主体となって活躍する場面の設定
【教師のすべきこと】

- ◎適切な課題の設定
 - 子供がやってみたいと思う課題の設定
 - 単元のゴールの姿を見通した課題の設定
- ◎子供の活動時間の保障
 - 簡潔・明確な指示と説明
 - ※教師がしゃべり過ぎない

※子供一人一人の状況を把握し、適切な支援を徹底する

- 言いたいことを笑顔で伝え合う子どもたちの姿が素晴らしい。
- 学習リーダーが進行役、モデルとしてよく動いていた。周囲の生徒を引っ張っていた。
- 定着確認では、eライブラリだけでなく、small talk等、いろいろな場面で工夫が見られた。
- ▲今日のように、学習リーダーがもっと出ることができると思った。
- ▲現在完了形だけでなく、もっとたくさんの経験用法を出させたい。めあてを修学旅行に絞らない方がよかったのではないかな。

等、多くの指導助言をいただきました。今後の研究を通して、他の学校でもできることを東陽小・中学校から発信していきたいと思えます。I指導主事、ありがとうございました。



toyo寺子屋スタート！

6日（木）から12日（水）まで「toyo 寺子屋」を実施しました。「toyo 寺子屋」とは、昨年11月から行っている全員学習会のことで、異学年の縦割り班で学習をします。3班に分かれて、前期中間考査に向けた学習に励みました。「ここわからないから教えて」「いいよ。これはね・・・」と、先輩や友人にわからない問題を尋ねたり、互いに質問したりする姿が見られ、とても良い雰囲気でした。1年生には先輩たちの学びに向かう姿が、参考になったようです。



はやく泳ぎたいです！ ～プール掃除～

今週3日間をかけて、プール掃除を行いました。プールの側面や底やブラシで磨いたり、更衣室やトイレ掃除をしたりと、この10ヶ月の間にたまった汚れを丁寧に落とすことができました。これからの季節は、水辺でのスポーツやレジャーに参加する機会も多くなることから、水の危険から身を守るための視点についても認識させることが水泳指導に求められています。再来週から水泳の授業が始まります。泳ぎを学ぶとともに、事故防止の心得も身につけてください。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）